



PLUS ULTRA

# HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 令和2年9月30日発行



令和2年

9/30

第61号

- 「歯噛みの思い」で新型コロナウイルスを乗り切ろう」 学校長 岡部 宣男 ..... 2ページ
- 令和3年度入試要項 ..... 3ページ
- 部活動紹介 ..... 4~5ページ
- 3年生の思い出 ..... 6ページ
- 白鷗大学だより ..... 7ページ
- PTAだより・WEB体験学習 ..... 8ページ

表紙絵：大野ますみ



# “歯噛みの思い”で 新型コロナウイルスを乗り切ろう

白鷗大学足利高等学校長 岡部 宣男

人間は2人寄れば必ず一方が優越感、一方は劣等感を抱くと言われています。自分の幼い頃を思い出すと、小学生の頃、体格は良い方だったのに走るが遅く、短距離走はいつもビリに近い成績、鬼ごっこも身軽な下級生に簡単に捕まってしまう、悔しい思いをしていました。また、私は幼い時に父を亡くし、母子家庭で育ちました。当時は母子家庭という貧困と非行のイメージが強く、「あの子は中学生になつたら格れるよ」など人から陰口をたたかれたこともありました。しかし、それがかえって「こんちくしょう」という歯噛みの思いになり、負けん気という太い力に育つたようです。あの頃感じた劣等感も悪いものではなく、かつたと思えます。

競争社会に劣等感はずきものです。劣等感から無理に目をそらすことはありません。優劣は紙の表裏のような関係なので、禍を転じて福となす“つもりで、自分の何が劣っているかを冷静にしっかりと見据え、判断し、そこからどう転じていくかが大切なのです。

十数年前に本校を卒業した4人のソフトボール部員たちの話をします。A子さんは父親の事業の失敗で、とても厳しい家庭環境に育ちましたが、ソフトボールという生きがいを見つけ、本校に入学してきました。入学後は持ち前の反骨精神が技術の進歩に繋がりと、2年生の秋に出場した全国選抜大会県予選ではベストのピッチングで勝利に貢献してくれました。夏休み中、破れて親指が見えたスパイクを何度も補修しながら投げ抜いたA子さん。その歯噛みの思いが自分自身を成長させたのです。その頑張りには翌春の全国選抜大会で全国第3位に輝く原動力となり、A子さんは卒業後実業団チームからスカウトを受け入団し、2部リーグだったチームを1部に昇格させる活躍を見せてくれました。



教室での入学式



TVを見つめて式辞を聴く生徒たち

メント戦優勝という偉業を成し遂げました。今でもママさんゴルフアールとして頑張っている彼女ですが、彼女もまた逆境を乗り越えた1人です。

キャプテンを務めたC子さんは個性の強い部員を束ねる重責と全国制覇という大きな目標に精神的に押し潰されそうになり、一時は退部を考えました。しかし仲間の本当の優しさに触れ復帰、3年生の夏休みから受験勉強に取り組み、第1志望の大学に入学、米国への1年間の留学を経て大手新聞社に入社しました。

D子さんは絵を描くことが好きで芸術系の大学に進学し、苦学して教員免許を取得しました。長い臨探教員生活を経て、2年前にいいに正式採用、今では中学校の美術の先生をしています。

このように「できないこと」、「叶わないこと」、「思い通りに」

見つめ直し、自分の持った能力、すなわち“自分の色”を発見して、それをゆつくり育てて欲しいと思います。“禍”の中で自分を見つめ直すことは、いずれ自分の“福”となるはずです。

まだ続きそうな“コロナ禍”ですが、「一人ひとりが他人と異なる能力を自ら掘り起こして育てることに真剣になってほしい。そして堂々と自分の色を出したらいい。他人とどこが違うているのかを見出し、それを“自分の色”として自信を持って伸ばしてほしい。」そんな思いを抱いてやみません。



入学式に届いた祝電の数々

ならないこと」に遭遇し、劣等感を抱いた時が大きな成長のチャンスなのです。

現在も“コロナ禍”が続く、私たちは「できないこと」が多く、「思い通りにならない」生活を余儀なくされています。しかしそんな今だからこそ自分自身を冷静に

## 入試相談会 (中学3年生と保護者対象)

	本校舎	富田キャンパス	埼玉会場
期 日	10月17日(土) 11月 7日(土) 11月29日(日)	11月 3日(火) 11月21日(土)	10月12日(月) 市民プラザかぞ 17:00~20:00 10月20日(火) ワークヒルズ羽生 17:00~20:00 11月14日(土) 市民プラザかぞ 10:00~15:00 11月25日(水) 市民プラザかぞ 17:00~20:00
時 間	9:00~12:30	9:00~12:30	

※本校の入試に関する質問に応じますので、ご都合のよい日時においでください。事前のお申し込みは不要です。この件についてのお問い合わせは各校舎に連絡するかEメールをお願いします。✉ nyushi@hakuoh.ed.jp

令和3年度の入試要項が下記のように決まりました。出願はすべてインターネットで行います。詳細につきましては、本校のホームページ、または本校の入試要項でご確認ください。なお、今年度も左記のとおり入試相談会を実施します。お気軽にご参加ください。

# 令和3年度 入試要項決まる

## 令和3年度入試要項

	試験別	コース(入学校舎)	試験日	試験教科	出願期間	合格発表
第1回入試	学業特待生入試(併願)	特別進学コース(富田キャンパス) 進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 合格者は、希望により本校舎の文理進学コース、または総合進学コースから選択して入学手続きができます。	令和3年 1月5日(火)	国・社・数・理・英	令和2年 11月28日(土)~12月8日(火)	令和3年 1月12日(火)
	特別進学コース入試(単願)	特別進学コース(富田キャンパス) 不合格者については、試験の得点により学業特待生入試に換算して判定します。		国・社・数・理・英 面接		
	単願推薦入試	進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 総合進学コース(本校舎)		国・数・英・面接		
	運動部・文化部特待生入試(単願)	文理進学コース(本校舎) 総合進学コース(本校舎)	令和3年 1月5日(火) 令和3年 1月6日(水) 国・数・英・面接 実技			
第2回入試	学特ランクアップ入試(併願)	特別進学コース(富田キャンパス) 進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 合格者は、希望により本校舎の文理進学コース、または総合進学コースから選択して入学手続きができます。	令和3年 1月31日(日)	国・数・英	令和3年 1月12日(火)~19日(火)	令和3年 2月4日(木)
	一般入試(併願)	進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 総合進学コース(本校舎)		国・数・英・面接		

### 富田キャンパス オープンキャンパス

申込締切日 10月7日(水)

● 10月10日(土)

● 10月24日(土)

各日定員  
180名

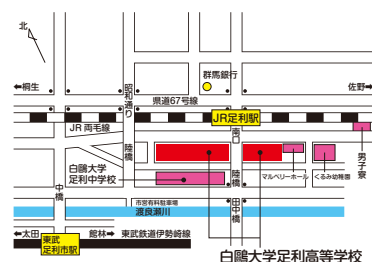
- 9:30~ 受付
- 10:10~ 学校説明
- 11:10~ 授業見学
- 12:00 終了予定



#### 白鷺大学足利高等学校富田キャンパス

- JR富田駅より徒歩3分
- 富田キャンパスへは東武伊勢崎線足利市駅・館林駅・太田駅および尾島方面より登下校時にスクールバスを運行します。
- 古河・結城方面および葛生方面からは富田キャンパスと本校舎へ登下校時にスクールバスを運行します。

〒329-4214 栃木県足利市多田木町1067  
TEL.0284-91-2633



#### 白鷺大学足利高等学校本校舎

- JR足利駅南口より徒歩1分
- 東武線足利市駅より徒歩10分

〒326-0054 栃木県足利市伊勢南町3-2  
TEL.0284-41-0890 (代)  
HPアドレス: <http://hakuoh.jp/>



# 部活動紹介

陸上競技部・男子バレーボール部  
女子バスケットボール部・剣道部  
サッカー部・バドミントン部・茶道部・合唱部

## 陸上競技部

一致団結

陸上競技部は、男女合わせて70名の生徒が所属しています。大人数の部なので、長距離ブロックと短距離ブロック（短距離、跳躍、投てき種目）に分かれて練習を行っています。それぞれ練習内容は違いますが、大会ではブロック関係なく、全員で応援やサポートを行っています。



陸上競技部集合写真

その結果、毎年、インターハイや国体、関東大会に多くの選手が出場しています。特に女子の駅伝では6年連続で栃木県を制し、全国駅伝大会に出場しています。

陸上部には、中学時代に全国大会で活躍した生徒から、高校から陸上を始めた初心者まで幅広く所属しています。競技レベルに関係なくチームの輪を大切に、毎日の練習に取り組んでいます。

今年度は、コロナ禍の影響で、インターハイ、国体が中止になってしまいました。目指していた目標が突如なくなり、落ち込むこともありましたが、私たちの「走る」とが好きの気持ちは消えることはありませんでした。今は、再び仲間たちと走れる喜び、笑い合える喜びをかみしめながら、日々の練習に励んでいます。そして、秋のシーズンが再開した時には、チーム一丸となって、全国高校陸上や県駅伝、全国駅伝に向けて頑張っていきたいと思っています。

これからも応援よろしくお願ひいたします。

## 男子バレーボール部

夢を追いかけて

男子バレーボール部は、3年生6名、2年生8名、1年生6名、マネージャー4名の計24名で活動しています。全国大会出場を目指



男子バレーボール部集合写真

して日々の練習に励んでいます。昨年度は、12年ぶりに出場した関東大会で1勝をあげることができました。今年度は、自県開催のインターハイということもあり、創部以来初の全国大会出場を夢見て、チーム一丸となって頑張っています。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止を余儀なくされました。部員たちはこの気持ちを何にぶつけなければいいのかわからず落ち込んでいましたが、今は、しっかりと気持ちを切り替えて、春高バレー出場を目標に頑張っています。

コロナ禍の中、色々な人から支えられ、助けられたことに感謝し、バレーボールが出来る喜びを噛みしめながら今以上のチームになるように頑張っています。今後とも応援よろしくお願ひします。

## 女子バスケットボール部

仲間と共に!!

私たち女子バスケットボール部は、3年生10名、2年生5名、1年生9名の計24名で、主将の総3の3小川玲亜さん（大谷中）と副主将の総3の1江原彩華さん（足利西中）を中心に、県内大会4冠と全国大会ベスト8を目標に日々の練習に励んでいます。新人戦は



女子バスケットボール部集合写真

県で優勝しましたが、その後の春の関東大会、インターハイ予選は新型コロナウイルスの影響で残念ながら中止となってしまいました。自粛期間中は個々で自主練習を行い自分自身と向き合う機会となりました。今、私たちはバスケットボールができることに感謝をし、チームのモットーである「自覚と責任」を一人ひとりが果たせるよう努力しています。残すは、選抜大会です。3年生にとっては最後の大会となるので、このチームで活動してきたことを誇りに思い、全力で戦ってきます。応援よろしくお願ひいたします。

## 剣道部

堅忍果決

剣道部は「全国大会出場・入賞」を目標に日々の稽古に取り組んでいます。栃木県の男子は全国トップクラスの佐野日大高校、小山高校の2強時代が続いていますが、近年では本校も加わり、熾

烈な優勝争いを繰り広げています。今年のチームは、男女共に1年次から関東大会を経験し、九州や東北への遠征、厳しい強化合宿を経て力をつけてきました。歴代で最も全国を狙えるチームでしたが、インターハイが中止になり、夢を叶えることができませんでした。しかし、このような状況下でもモチベーションを維持し、休校中も毎日オンライントレーニングを行いました。朝、夜の二部練習でしたが、誰一人休むことなく全員で行いました。

剣道で大切なのは、勝ち負けだけでなく「剣道を通しての人間形成」です。インターハイという目標がなくなっても、決して逃げずに必死に取り組んだ3年生の姿に後輩たちは忘れられないです。この経験を通して、剣道部は更に強くなっています。

3年生が叶えられなかった夢の後輩たちが必ず叶えます。これからも応援よろしくお願ひします。



剣道部集合写真

## サッカー部

「雑草の如く逞しく」



令和元年度県新人大会  
準々決勝スターティングメンバー

サッカー部は、全国高校サッカー選手権大会出場と関東プリンスリーグ参入を目標に、選手・保護者・顧問・スタッフが一丸となり活動しています。チームはAチーム、Aサブチーム、Bチーム、1年生チームの4チームに分かれており、Aチーム・AサブチームはJクラブユースや他県強豪校・近県大学などとトレーニングマッチを行い、技術・戦術の強化を図っています。前大会の県新人大会ではベスト8でした。今後のリーグ戦ではAチームが県1部リーグ、Bチームが県2部リーグ、1年生がジョガドリス関東リーグ2部に参戦します。新型コロナウイルスの影響により、9月からの開催になる予定なので、現在それらに向けて各チーム準備を進めています。二つのモットー「さらに向こうへ」「雑草の如く逞しく」を全員が強く胸に秘め、感動

を与えられるチーム活動を目指します。今後も応援よろしくお願ひします。

## バドミントン部

「人間の成長を目指して」



レシーブを構える  
総3の3照沼星くん(小山三中)

バドミントン部は3年生12名、2年生13名、1年生12名の合計37名で日々活動をしています。部の方針としては、何よりも人間的な成長を目指しています。人

としての成長がプレーヤーとしての成長を促し、最終的には勝利をつかむことにつながると考えており、技術、勝敗だけでなく、コート外でのあいさつ、礼儀、服装など生活面をきちんとすることを心がけています。

昨年、4名の生徒が全国私学大会に栃木県選抜チームとして出場することができました。思うような結果を残すことは出来ませんでした。インターハイ出場校を相手にファイナルゲームまで持ち込み、健闘しました。今度は個人だけでなく、チームとしても全国大会に出場できるように毎日の練習に全力で取り組んでいきたいと思っています。

## 富田キャンパス

### 茶道部

「年に一度の校内お茶会」

富田キャンパス茶道部は、毎週水曜日と金曜日に亘日の間で活動しており、金曜日には外部から先生をお招きして、稽古に励んでいます。部員の多くが初心者で、道具の名前や細かな作法を覚えるのに時間がかかりますが、練習を通して習得していきます。また、礼儀作法やおもてなしの精神を会得することで、人間的にも成長することができま

す。7月31日にシィガルホールにて、毎年恒例のお茶会を開催しました。例年は茶室で行っているのですが、今年は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、換気のできるホールでの実施となりました。いつもとは異なる会場、手袋やマス



茶道部全員で



お茶会の様子

クをつけてのお点前など、慣れない点もありましたが、来ていただいたお客様に喜んでいただけよう精一杯おもてなしをしました。来ていただいた方から「お茶がおいしかった」「茶道の雰囲気がかってよかった」などの声を頂き、部員達はとても喜んでいました。

このお茶会で3年生は引退です。茶道部で学んだことを今後の生活にも生かしてほしいと思います。

## 合唱部

「引退コンサート」

合唱部は、毎週月曜日と木曜日に富田キャンパス音楽室で活動しています。パート練習、合唱練習はもちろん、曲の表現について話し合ったり、楽譜について学んだり、顧問の増岡先生のご指導のもと日々練習に励んでいます。

8月3日、富田キャンパスシィガルホールにおいて、3年生引退コンサートが開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う休校期間が終わってからも通常の練習さえできない状態が続いて

いましたが、換気、消毒など感染防止対策を徹底し、実施しました。ソーシャルディスタンスをとっての合唱はいつもと勝手が違い、全員の声を合わせる事が一層難しく感じました。短い練習期間でしたが、心を一つにして素晴らしい合唱を披露することができました。3年生はこのコンサートをもって引退することになりますが、部活動で学んだ音楽の楽しさと、身に付けた自己表現力を今後の人生に生かしてほしいと思います。



「民衆の歌」を熱唱する部員達

A Million Dreams  
～映画「グレイテスト・ショーマン」より～  
証(あかし)  
作詞 山村隆太(flumpool)  
作曲 阪井一生(flumpool)  
編曲 加藤昌則  
民衆の歌  
～ミュージカル「レミゼラブル」より～  
アンコール  
Joyful, Joyful  
～映画「天使にラブソングを2」より～



# 3年生の思い出



## 一心で挑んだ高校野球

仲間の大切さ

総合進学コース3年4組 高橋 樹(平第三中)

高校球児の聖地・甲子園を目指し、歴史と伝統のある白鷗大  
学足利高等学校へ入学しました。  
1年生の夏は決勝まで進みま  
したが、甲子園まであと一歩の



ところで敗れ準優勝でした。そ  
の後の1年生大会では、気持ち  
を切り替え、チームが一丸とな  
り優勝し「白鷗力」を見せ付ける

ことができ、来期への第一歩を  
踏み出すことができました。

2年生になり順調に目標をク  
リアし、前年の教訓を踏まえ浮  
き足立つことなく私の2回目の  
夏が始まりました。しかし、結  
果は「1回戦敗退」。何が起  
こったのかしばらく理解できず  
呆然としました。多くの方々の  
期待と夢が一瞬で消えてしまっ  
たことに困惑したことを今でも  
忘れません。

そんな中始動した新チームで  
したが、台風19号の影響をうけ、  
河川敷のグラウンドが浸水し練  
習する場所を失いました。私た  
ちは、ことごとく大きな壁に行  
く手を阻まれてしまいました。  
その後、グラウンド復旧まで練  
習場所を転々とし、関係の方々  
の尽力で練習が再開できるとの  
一報をいただいたときはとても  
うれしく思い、感動しました。

しかし、今度は、全世界に広  
がった新型コロナウイルスの影

響で当たり前前かが当たり前前  
でなくなり、学校は休校、部活  
動も休止となりました。2ヶ月  
間も仲間と会うこともできず辛  
い日々を送っている中、追い打  
ちをかけるように夏の甲子園の  
中止が発表されました。

数々の劣勢を切り抜け、新た  
な気持ちで仲間と目標を定めて  
頑張ってきましたが、今回だけ  
は高校生活最後のチャレンジジ  
だったので絶望感しか生まれま  
せんでした。しかし、その中で  
私たちに温かい言葉をかけてく  
ださった監督、コーチ、先生方、  
そして両親。その言葉にもう一  
度前を向くことができました。

私たちは、この経験をチーム  
力で乗り切り、困難をものとも  
せず前に進んでいく姿を先輩に



見せることが、最後の役割であ  
ると思えました。そこで、部員  
全員、「一心」で前に進んでい  
こうと決め再始動することにし  
ました。私たちはこの3年間、



甲子園出場という目標に向かっ  
て努力し、様々な困難を乗り越  
え、自分自身を成長させること  
ができたと思います。今まで応  
援してくれた人たちがすべてに感  
謝します。本当にありがとうございます。

**交流戦** アニタスコ  
日時 8月22・23日  
場所 白鷗大足利高校グラウンド

白鷗大足利 VS 真岡	0000000000	0
真岡	100000213	7
白鷗大足利 VS 宇都宮	0000000000	0
宇都宮	0211012	7

白鷗大足利(7回コールド勝)  
白鷗大足利(8回コールド勝)

秋季大会ベスト16のシールド権獲得

2020年  
栃木県高校野球  
交流試合

1回戦	白鷗大足利 VS 矢板	00000000	0
矢板	0100001X	2	0
2回戦	白鷗大足利 VS 真岡	20112000	6
白鷗大足利	00000000	0	0
真岡	00000000	0	0
3回戦	白鷗大足利 VS 佐野	09000001	10
白鷗大足利	00000000	0	0
佐野	00000000	0	0

チーム一心  
感謝

三戦全勝無失点



# 白鷗大学だより

フルス ウルトラ PLUS ULTRA —さらに向こうへ。



リモート授業の様子

## コロナ禍の学生支援の取り組み ～学生一人あたり5万円の経済的支援～

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、本学では在学生5,000人にに対し、一人あたり一律5万円の緊急支援金を支給しました。これは、前期授業をオンラインで実施するにあたり、より良い修学環境を整備してもらうために行ったものです。

また、感染を防止するため、キャンパスへの入構が原則禁止となったことを受け、教員がメッセージ動画「The professors」を制作。在学生にウェブ配信し学生をサポートしています。これは、教員3人が授業やキャリア、研究などそれぞれのテーマでオンライン対談し、新入生を中心にメッセージを送るという取り組みです。第1回目は経

営学部の小笠原伸教授と法学部の白石智則教授、教育学部の大木俊英准教授が対談。遠隔授業における受講のポイントを説明。そして、授業支援システムを使うなどして、教員に積極的に質問をしてほしいとアドバイスをしました。

白鷗大学では、コロナ禍でも学びの機会を学生たちに提供し続けるために、授業以外にも多面的な支援を続けています。

## 岡田ゼミがカレンダーを作成 小中学校等に無料配布

子どもたちへの感染症予防教育に少しでも役立ててもらおうと、教育学部の岡田ゼミナールが「うつる病気のひみつがわかる防災感染症カレンダー」を600部作成し、地域の保育所や幼稚園、小中学校に無料配布しました。この取り組みは、岡田晴恵教授の「こどもの理解のための感染症予防教育の研究」ゼミナールの学生が手作りカレンダーを作成しているもので、今年で4年目になります。今回は、2019年10月に上陸した台風19号による被害が栃木県でも大きかったことから、テーマを「防災」とし、被災時の避難所での生活や片付け作業を通じて発症しやすい、さまざまな感染症につ



岡田ゼミで作成した  
感染症カレンダー

いて取り上げました。カレンダーに描かれているイラストは、子どもたちでもわかりやすく学べるように工夫し、9人のゼミ生が自らデザインしたものです。月ごとに感染症を一つ紹介し、その症状と予防策について記してあり、その月の裏面には、より詳しい解説が

## 教員採用試験 合格者過去最多

2019年度の教員採用試験は、新卒105人、既卒149人の合計254人の合格者（臨時的任用除く）となり、過去最多を更新しました。そのうち、214人が小学校教育論、中学校教諭29人（保健体育・英語・社会）、高等学校教諭7人（保健体育・英語・公民）、特別支援学校教諭4人でした。さらに、幼稚園教諭11人、保育士51人が採用となりました。

公務員試験では、82人が現役合格を果たしました。その内訳は、栃木県警察本部の14人をはじめ警察に23人、栃木県庁などの県市町村職員に29人、消防官に7人、公立保育士に12人、自衛官に10人、刑務官に1人が合格となっています。

掲載されています。また、学校現場で使いやすいようにとカレンダーは4月始まりになっています。岡田教授は、教育学部において、専門特講科目「学校感染症の対処法」を開講。感染症免疫学を専門とする岡田ゼミナールでは、さらにその研究を深めています。

小中学校や幼稚園の教員、保育士を目指す学生が、本学で感染症に対する正しい知識と、対策や予防法を学ぶことで、将来、教育や保育現場で力を発揮できることを期待しています。

す。また、白鷗大学の2019年度の就職率は、98.4%でした。

最近では新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、従来のような指導はできず、キャリアサポートセンターでは3密を避けるため、予約制での面談を実施。教職支援室もオンラインを利用してのセミナーやガイダンスを積極的にを行っています。

■小中高教員採用試験合格者数の推移

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
19人	22人	41人	31人	53人	76人	112人
2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	合計
123人	122人	169人	171人	205人	254人	1,398人



# PTAだより

逆境に負けずに頑張ろう

PTA会長 西場 伸一



PTA会員の皆様、日頃のPTA活動に多大なるご協力を賜り心より厚く御礼を申し上げます。

今年度も400名以上の新会員の皆様をお迎えしました。しかし、新型コロナウイルス感染症防止のため、晴れの入学式も教室での開催となり、保護者の皆様に出席をこ

遠慮いただく事態となりました。楽しみにされていた皆様は大変残念な思いをされたことと存じます。そして入学式に引き続きPTA入会式も中止され、保護者の皆様にPTA活動をご説明できなかった事をはじめ、5月以降に予定されていたPTA総会、支部懇談会も中止させて頂きましたこと、改めて、お詫び申し上げます。緊急事態宣言の発令により、4月から5月までは休校や学年別登校などが続けられ、新入生の皆様

だけでなく在校生の皆様も経験された事の無い、学校生活を過ごす事となってしまいました。そのような中でも授業の遅れが発生しない様、努力を続けて頂きました教職員の皆様には心より感謝申し上げます。

6月に入り通常の授業がようやく始まりました。生徒、保護者の皆様には色々なご不便ご負担を、お掛けしている事と思いますが、今まで以上のご協力を御願ひ申し上げます。日本社会も今までに経験したことがない状況になっておりますが、生徒の皆様にはこの逆境に負けずに頑張っしてほしいと思っております。そして、この大き

な経験を高校生活、将来の社会生活の中で役立てて頂きたいと思っております。

## WEB体験学習

WEB上で授業を体験

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、本校では、例年学校内で行われている「一日体験学習」をWEB参加型で実施しました。本校ホームページからの申込みで8月1日から8月31日までの間、「体験授業」や「入試説明」、「学校説明」をWEB上で視聴することができるといふものです。また、校内見学を疑似体験できる「キャンパス紹介」なども用意さ

## 本校舎進路講演会

### 1学年

1学年では、進路講演会を新型コロナウイルス対策をしながら2回実施しました。

1回目は休校中の学年別登校日、4月15日にウェブ会議ツールのZoomを利用し、ベネッセの吉田光男さんの講演を聴きました。

2回目は6月22日に校内テレビ放送を利用し、ライセンスアカデミーの役者さんによる演劇形式での講演を視聴しました。コロナ禍の状況ですが、進路実



1学年講演会の様子

現のために将来について考える良い機会となりました。

### 2学年

6月22日、生徒の進路実現に向け、進路講演会が開催されました。本年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、TVとタブレットを利用したりリモート講演会となりました。講師であるベネッセの黒川寛さんから先輩たちの経験談や、大学入試を見据え第2学年として今やるべきことについてお話いただきました。特に今年度より始まる大学入試共通テストについて詳しく説明していただきました。講演後は生徒からの質問が多数あり、進路への生徒の向きな取り組みが感じられる講演会となりました。

### 3学年

6月29日、3年生を対象に進路ガイダンスが実施されました。台風19号や新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う休校で、行事の延期や中止を余儀なくされていたため、1年ぶりの進路行事の開催となりました。

進路決定を目前に控えた時期でもあるため、各自の希望する進路に応じた、各学校の入試制度についての説明や就職試験対策などの情報が提供されました。この体験を通して、生徒たちも、進路決定に向けて気持ちを新たにされた様子でした。



2020-WEB体験学習-英語講座

## 編集後記

新型コロナウイルスは収束の気配を見せることなく、今も世界で猛威を振るっています。マスクを着用することや人との距離を保つことなどの新しい生活様式が提唱され、1年前では考えられなかったような生活を強いられています。そんな時こそ、私たち一人ひとりが思いやりの心を持つことが必要です。人との距離は保ちつつも、心を寄せ合って困難な状況に立ち向かっていく姿勢を大切にしたいものです。

※ お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。  
編集・校報委員会  
発行・白鷗大学足利高等学校  
足利市伊勢南町三の二  
0284-41-0890  
制作・(有)コーエィプロセス  
発行日・令和2年9月30日